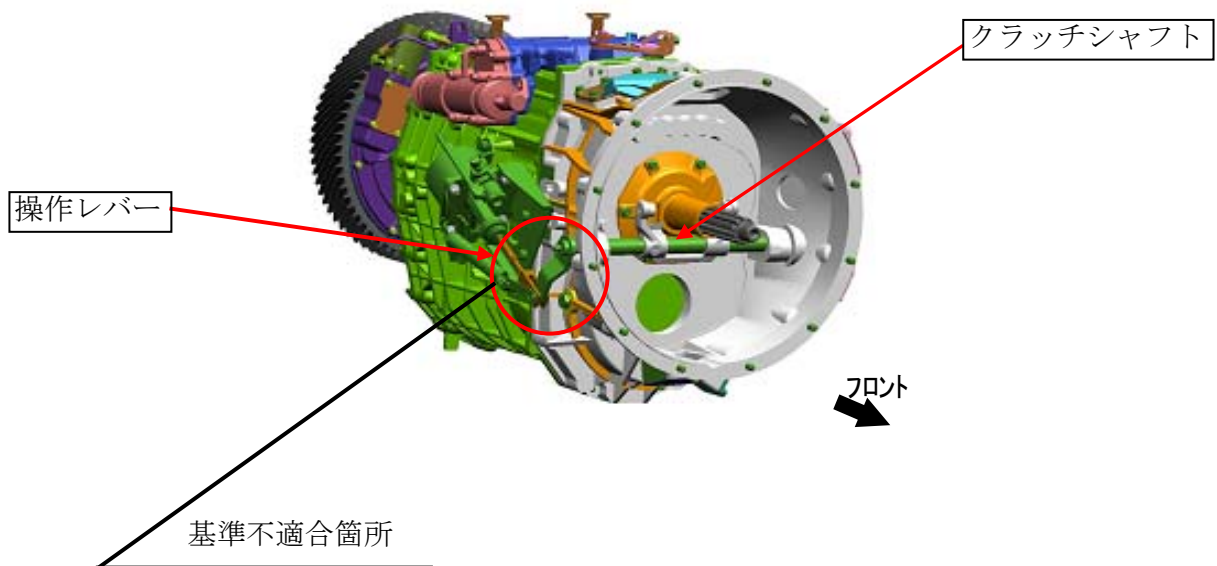


改善箇所説明図



クラッチシャフトと操作レバーの溶接が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、クラッチ操作の繰り返しにより当該溶接部が剥がれて空転し、最悪の場合、クラッチ操作ができず、走行不能となるおそれがある。

改善の内容: 全車両点検し、溶接が不十分なものはクラッチシャフトを良品と交換する。

識別: クラッチシャフトの操作レバーに黄色ペイントを塗布する。

注: は交換部品を示す。